

大雨被害 現地視察 8月12日

総農作物被害額 31億8945万円、総被害面積2894.56ha

市議会は、8月3日からの大雨による被害状況確認のため、柏地区の岩木川河川敷のリンゴ園と木造、稲垣地区の田光沼周辺の水田を現地視察した。

なお、この時点では被害の全ぼうは見えていなかったが、その後被害総額は31億8945万円と判明した。(リンゴ、水稲以外17億837万円)

リンゴ被害額3億737万円

岩木川河川敷で栽培しているリンゴ園は、全域冠水被害を受けた。柏小和巻地区のリンゴ園では、まだ水が引いておらず、堤防からの視察となったが、リンゴに茶色く泥がついている様子が見られ、地面に落下したものが散見された。

また、園地には木の枝、ごみなどが散乱し、被害は深刻であった。議員からは、早急に対策が必要だという声が多く出た。



地区住民から被害状況を聞く



冠水状況を確認



稲作農家から被害の説明を受ける

水稲被害額11億7371万円

水稲の冠水被害を受けた木造平滝地区ではコミュニティ消防センターに地区住民が大勢集まっており、議員らが到着すると「とにかく被害現場を目で見て欲しい」と切実に訴え、議員らは一人ひとりの声に耳を傾けた。

現場の田光沼周辺の水田では、田光沼のほか山田川、出精川の決壊、越水により、沼と水田の境界がどこか分からない状況であった。

議員からは、被害が分かり次第、支援を要望しなければならないという意見が出た。



決壊現場を確認



広範囲で冠水

経済建設常任委員会 現地視察 8月22日

経済建設常任委員会はメロン、ナガイモ、ゴボウ等の被害状況を確認するため、現地視察を行った。収穫直前のメロンは長時間水に浸った影響で廃棄せざるを得ない状態であった。ナガイモ、ゴボウは大雨から約2週間経過しても畑から水が引き切っておらず、生産者から根腐れしたゴボウを見せられると、全委員がスピード感をもって早急に手を打たなければならないという意見で一致した。



市長へ申入れ ～ 視察費を減額し農家支援へ～ 9月1日



市議会は正副議長及び3常任委員長の5名による委員長会議を開催し、本年度予定していた常任委員会の行政視察を中止することを決めた。そして、野呂司議長（写真左）と佐々木直光副議長（写真右）は、倉光弘昭市長（写真中央）へ、中止により減額となる予算378万円を大雨被害にあわれた農家支援に充てるよう申し入れを行った。これに対し、市長は「速やかに対処する」として、減額となった視察費378万円を農家支援に充当する補正予算案を9月議会に提出し、市議会はこれを可決した。

青森県市議会議長会 市議会議員研修会

10月5日、青森県市議会議長会の市議会議員研修会が、平川市の平川文化センターで開催され、議員16名が出席した。

講師は早稲田大学マニユフェスト研究所の長内紳悟氏で「議会が果たすべき役割」と題して講演し、議員は議会の在り方について参考となる事例の話に熱心に耳を傾け知識を深めた。



講師の長内氏



研修する議員